

重点化方針2
地場産業のブランド化

近年、産地間競争が激化する経済市場において、紋別の地場の産業をより確固たるものにするためには、農林水産業をはじめ、紋別産品のブランド化を図ることであります。

生産地、生産者、生産施設など「産地の顔が見える」産業流通形態が時代的に求められており、安全で良質な希少価値の高い、ものづくりと販売戦略を組み立て、他都市との差別化を進めてまいります。

重点化方針3
交流人口の拡大

いよいよ、全国的に少子高齢化が進展し、人口減少の時代を迎え、地方都市は人口増が望めない中で、地域活性化の一つの糸口を交流人口に求めざるを得ない状況にあります。

移住者・滞在者誘致をはじめ、スポーツ・文化合宿誘致や観光振興、さらには都市間交流など幅広く紋別への人的交流を展開する「交流拡大プロジェクト」を官民一丸となり進めてまいります。

以下、5つのまちづくり目標に沿って、本年度の主要な施策の概要について申し上げます。

目標1
産業が暮らしを支えるまち

まちの永続的な発展は、しっかりととした足腰の強い地場の産業を育てることが何より重要であり、農林水産業を中心とする活発な競争力のある産業活動が必要であります。

地場産業の自立的な発展を助長するため、産業支援制度の創設や拡充など積極的な施策を展開し、産業界全体の競争力向上に努めます。

まず、農業につきましては、中渚滑地区の畜舎整備や草地整備を進めるなど、生産性の向上を図り、農業経営の安定化に努めるほか、本市で新たに農業を志す新規就農者の受け入れを支援するなど、担い手の確保・育成に取り組めます。

また、オホーツクはまなす牛の販売拡大とブランド化を推進するため、都市圏での販路開拓キャンペーンや、地元消費の拡大に向けたイベント参加などに対して事業支援してまいります。

このほか、沼の上水谷地区営農用水道の平成19年度工事着工に向けて、実施設計に取り組みます。

水産業につきましては、ホタテが紋別の漁業の主力であることから、より市場価値の高いホタテづくりを漁協と共に進めてまいります。



また、漁協青年部が主体的に取り組んでおりますクロガシラガレイの種苗生産試験に支援するとともに、ナマコの増養殖試験に技術支援するなど、将来的な栽培漁業の振興に努めます。

このほか、第1船溜地区の港湾改修と併せた漁協市場の一体的整備が図られるよう、関係機関と協議を深めてまいります。

製造加工業につきましては、全国の消費者から信頼される紋別産品を確立するため、衛生管理機能の充実でハサップ対応を目指す施設・設備の改修等に対して、新たに制度を創設し支援してまいります。

また、紋別独自の自主検査体制を確立した水産製品検査センターとの連携を強化し、「安全安心な食品づくり都市」を目指します。

林業・林産業につきましては、森林の多面的機能に配慮しながら、紋別産材が一定のブランド材として評価されるよう、「緑の循環森林認証(SGEC)」の取得を官民一体となつて取り組んでまいります。



また、民有林の適切な森林整備を促進するため、造林や除間伐などの活動支援を行うほか、大山の地滑り調査を実施し、2次災害の防止や森林保全対策が、早期に事業化されるよう努めます。

農林水産業から育まれる紋別産品のブランド化につきましては、民間の持つ商業戦略と消費者の視点が必要となりますことから、本年度はブランド化推進対策協議会を発足させ、各業界、消費者、有識者など多

方面からの検討を深め、例えば紋別独自の認証制度を創設するなど紋別産品の高質化と差別化を目指し、安定的な販路の確保と生産力の向上に取り組んでまいります。



中心市街地及び商業につきましては、空き地空き店舗活用支援制度を見直し、賃貸料の支援期間を3年間まで延長したほか、併せて商業環境整備促進事業についても、最低投資額を100万円まで引き下げ、支援対象範囲の拡大と支援率のアップを図り、商業意欲の増進に努めます。

また、中心市街地の街路灯設置を支援するとともに、市街地への住宅建設を誘導するシステムを整備するなど「まちなか居住」を促進し、中心市街地の活性化に努めます。

このほか、中心市街地活性化基本計画及びTMO構想を商工会議所をはじめとする関係機関や事業者と共に検証するとともに、新しいまちづ

くり三法の改正内容を十分吟味しながら、今後の進むべき方向性を協議してまいります。

産業誘致及び雇用対策につきましては、地域の財産である空港や港湾機能を生かした本市の優位性を情報発信するとともに、地元企業をはじめ進出企業に対し積極的に事業支援し、紋別の産業経済の発展と雇用機会の拡大に努めます。

また、サハリン石油・天然ガス開発を生かした紋別の産業起しの可能性について、その情報収集と調査研究を進めてまいります。

- ・ オホーツクはまなす牛販路拡大に向けた事業展開 210万円
- ・ 地場製造業の施設衛生機能充実に向けた支援制度創設 1,000万円



- ・ 市有森林認証制度(SGEC)の取得 537万円
- ・ 大山地滑り対策調査と応急工事 2,073万円
- ・ 商店街空き地空き店舗対策の制度拡充支援 485万円

目標2 健やかに安心して暮らせます

子どもからお年寄りまで全ての市民は、健康で安心して暮らせる生活環境を求めています。

これまで以上に暮らしやすい地域社会を創るために、保健・医療・福祉から生活道路・ゴミ処理対策まで、市民が住み良い施策を展開してまいります。

医療につきましては、道立紋別病院の総合的な医療サービスの提供が、この地域に暮らす住民にとって極めて重要な問題です。

循環器科の存続をはじめ産婦人科の分娩機能の再開など、医療機能の絶対確保に向けて、紋別市民の会や西紋別地区総合開発期成会など地域の声をひとつにし、この医療の窮地を北海道や医大に訴え理解を求めて、西紋別地域のセンター病院を全力を挙げて守っていく決意であります。

また、次期「北海道病院事業経営計画」に、この地域の声が反映されるよ

う積極的に行動してまいります。

このほか、上渚滑地域の医療体制については、歯科診療所の合併浄化槽の設置など、施設の改修を実施するほか、診療所の運営については、後任の医師を配置し、地域住民が安心できる医療体制を確保してまいります。

介護・高齢者福祉につきましては、本年度より制度の見直しに伴い、要支

